日本共産党
あなたにお届け！
島田たく配便

日本共産党 区議予定候補 島田拓ニュース　No.10　2011年1月
連絡先・旭町1-15-19　TEL　5997-5014
島田拓ＨＰ http://www.shimada-taku.com/

光が丘清掃工場は安全か

水銀問題は起こるべくして起こった

水銀、ダイオキシンなど心配の声がよせられている、光が丘清掃工場の視察に行ってきました。

ダイオキシン発生の抑制について、工場からは、高温（800℃以上）、長時間（3時間）燃焼で抑制。排出灰はスラグ（灰を1200℃以上に加熱、急激に冷却。道路などの材料）になり、生成ガスはろ過式集塵機などで、有害物質を除去、安全は十分保たれていると説明をうけました。

一方、公害問題の専門家からは、現実では、想定のようにうまくはいかないと厳しい指摘がよせられています。

１、そもそも800℃以上の温度を炉内全体で常時維持することは非常に難しく、ダイオキシンの発生の抑制には高度の技術が必要で、現状はその体制に不安があること。

２、有害物質発生の調査も、欧米のように常時は行われておらず、その濃度がかりに高い値を示したとしても見逃されてしまう危険性があることが指摘されています。

昨年の高濃度の水銀検出（工場が一時停止）事件についても、現在でも原因がわからないままで、その要因の一つとして現場において専門的な知識をもった職員が少ないことに問題があり、今回の問題も起こるべくして起こったのではないかと言われています。

中央制御室を視察している島田拓区議予定候補。

焼却場は一種の化学工場であり、混入物質不明のブラックボックスを焼却するという処理方法では、どんな物質が生成されてもおかしくはありません

いま欧米では、できるだけ焼却せずに、ごみ問題を解決する方向に舵を切りかえ、マテリアル、原材料に戻すことに力を注いでいます。

工場視察で痛感した事は、清掃工場のチェック機能を早急に高めることと、専門的な知識をもった職員を増やし、有害物質を出さないような体制にしていくことです。そして将来的には産業構造も含め、ごみの原因そのものを産み出さない社会を作っていく必要があると思いました。

住民の命と健康守るため、みなさんのご意見ご感想をお寄せ下さい。

ホームページ　島田拓・検索　もご覧ください。